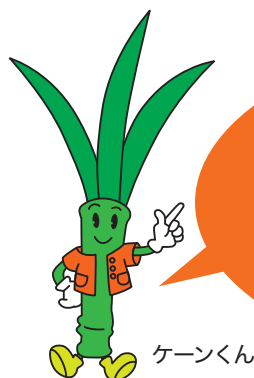


農林8号 NiF8

日本の主要品種

- 早熟、高糖、多収で、可製糖量(砂糖収量)が多く、さび病、黒穂病などの主要病害に対する抵抗性も強くバランス良く優れています。安定感のある品種として頼りになるでしょう。
- 脱葉性に優れ、収穫作業の効率化が図れます。



農林8号(NiF8)は、
平成6年に
沖縄県全域向けの
奨励品種に採用されました。

■主要な生態的特性

	発芽性	分げつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
NiF8	良	中	良	多	強	易
NCo310	中	中	中	多	強	難

■病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼病	さび病	葉片赤斑病
NiF8	強	強	強	強	強
NCo310	弱	弱	中	弱	弱

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



左: NiF8 右: NCo310

栽培上のワンポイント

- 肥沃地および重要病害発生地帯を中心に植え付けましょう。
- 早期刈り取り用品種として2月までに収穫しましょう。
- 3月以降には側芽の発生が見られるので、早期植え付け(3月上旬まで)を励行しましょう。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター



独立行政法人
農畜産業振興機構

はさとうきび生産者の皆様を応援しています。